

解説

土質変化に柔軟な対応が可能なハイブリッドモール工法

たけむら ひいず
武村 秀

アイレック技建(株)
非開削推進事業本部

1 はじめに

近年では気候変動により頻発化・激甚化する自然災害に対応するため、国をあげて防災・減災の取組みが進められているところである。推進工法分野においても事前防災の観点からインフラ整備や耐震化・強靱化等への取組みに貢献しているところであるが、我が国特有の地形から自然災害による堆積土には様々な土質が含まれており、地下を掘り進むうえで大きな課題となっている。本稿では様々な土質変化に対応するハイブリッドモール工法（以下、本工法）の概要と施工事例を述べることにする。

2 本工法の概要と特長

2.1 工法の概要

本工法は各方式の技術的特性を活かし、短所を補完するために切羽安定（圧力保持）と土砂搬出方法との組合せを同一スパンでも切替え可能とすることで、施工の安定性を向上させる工法である。本工法NS方式のシステム概要を図-1に示す。

本工法は掘削方式と排土処理方式の組み合わせにより、表-1に示すように3つの方式に分類される。NN

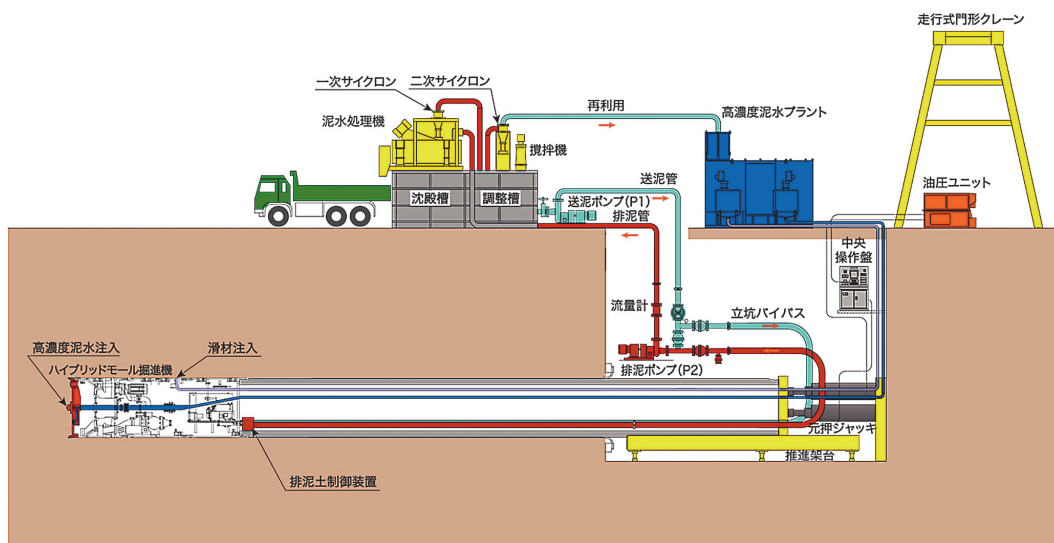


図-1 NS方式の概要

